

## 臨床実習における国際交流

琉球大学医学部医学科は、『国際性豊かな医学部医学科として発展させ、アジアを主とする諸外国との学術交流を通して国際医療に寄与する』ことを基本理念のひとつとしており、近い将来医師となる医学生が、海外大学での臨床実習クリニカルクラークシップ研修を経験することができるプログラムを提供している。また、海外大学からも医学生を受け入れ、相互の国際交流を行っている。

### <目標>

- ①全世界的グローバルな視野をもつ医師へと成長し、全世界的な医療の場で活躍できる。
- ②国際社会に通用する人材を育成することにより、そのために必要な教育手法の確立をも視野に入れる。
- ③派遣成果を踏まえたプロジェクト研究を推進し、国内外において地域への還元を目指す。

この臨床実習は高学年の段階での”海外研修”であり、本学で医師に必要な正しい倫理観に基づくプロフェッショナリズムを身につけ、基礎・臨床の知識を得る講義を十分終了し、臨床実習もほぼ終了に近づき、患者の診察・診療を学ぶ場においてかなりの時間が経過した時期の臨床クリニカルクラークシップである。

海外の多くの患者・医師・スタッフ等と接し、わが国・本学と海外大学との医学・医療・診療の共通点・相違点、その他多くの知識や情報を得て、将来の医師として人間形成に役立つ学習・学びを行う。現在、協定校のハワイ大学（アメリカ）、ミシガン州立大学（アメリカ）、タマサート大学（タイ）、台北医学大学（台湾）、南洋理工大学（シンガポール）への学生派遣及び受入を行っている。また、協定校以外からも学生を受け入れており、毎年多くの希望者から問い合わせがある。海外からの学生を受け入れることで、本学学生にとって国際交流の機会が広がり、語学力及びコミュニケーション能力の向上に繋がっている。

医学科では独自のチューター制度を導入し、担当の本学学生が海外からの学生の生活面や学習面のサポートを行っておりとても好評である。また、実習期間中は国際交流担当の事務職員によるサポートもあるため、安心して実習生活を送ることができる。このチューター制度は今後も継続していく。



ハワイ大学の関連病院で実習をした学生による報告



海外からの学生に対するサポート体制の充実

＜臨床実習 海外協定校への派遣実績＞

	締結年月日	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
1	ハワイ大学	1988年11月7日	2	3		2	2	2	1	2	1	1
2	台北医学大学	2014年2月18日					2		2	2	2	2
3	タマサート大学	1984年6月26日						2	2	2	2	2
4	ミシガン州立大学	1979年2月14日							2			2
5	南洋理工大学(LKC)	2017年9月7日										1
派遣者数 合計			2	3	0	2	4	4	7	6	5	8

＜臨床実習 海外からの受入実績＞

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1	ハワイ大学	2					
2	台北医学大学	2		2	2		1
3	タマサート大学	1	1	2	2	1	1
4	ミシガン州立大学						
5	南洋理工大學(LKC)						
6	ケルン大学 (ドイツ)	1					
7	ボン大学 (ドイツ)		1		3		
8	ニューキャッスル大学 (オーストラリア)		1				
9	ミュンヘン工科大学 (ドイツ)		1				
10	ヴィッテン・ヘアデッケ大学 (ドイツ)			1		1	
11	シャリテ・ベルリン大学 (ドイツ)				1		
12	イエーナ大学 (ドイツ)					1	
13	ドレスデン工科大学 (ドイツ)					1	
14	ヨハネネス・グーテンベルク大学 (ドイツ)						1
15	ウィーン医科大学 (オーストリア)						1
16	ゲッチンゲン大学 (ドイツ)						2
17	アルベルト・ルートヴィヒ大学 (ドイツ)						1

受入者数 合計

6

4

5

8

4

7